



ながおか医療生協
あたごこどもクリニック
 〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1
 電話番号0258-36-5810
<http://www.nagaoka-iryuu-seikyuu.jp/>

9月の診療予定

		月	火	水	木	金	土
あたごこどもクリニック	9:00 ~ 12:00	吉川	吉川	吉川	吉川	吉川 本間 (第1週)	吉川
	14:00 ~ 16:00	乳児健診 予防接種	乳児健診 予防接種 (第1・3週) 発達外来 (第2・4週)	/	乳児健診 予防接種	乳児健診 予防接種	/
	16:00 ~ 17:30	吉川	吉川	/	吉川	吉川 本間 (第1週)	/

受付開始: 一般診療は午前8時30分、午後15時45分です。

- ☆ **一般診療**
診療時間内に受診ください。予約は不要です。付き添いのお母さん等が体調不良の時もお気軽にご相談ください。緊急の場合や、特別な相談がある場合は、まずお電話ください。
- ☆ **発達外来**。(第2・4火曜 13:30~16:00)
・発達が心配、コミュニケーションがとりづらい、落ち着きがない、かんしゃくをおこしやすい、ひきつけがある等の発達や神経に関する心配がある方も気軽にご相談ください。
- ☆ **予防接種、乳児健診、発達外来受診希望の場合には**、電話で予約お願いいたします。
- ☆ **沢田の生協こどもクリニックとも協力して診療を行っています。**
病児保育室「すこやか」を利用希望の方は、当院を窓口にして利用することもできます。

- ☆ 開院して2カ月がたちました。次第にご利用いただく方も増え、診察室が混み合う時間帯もでてまいりました。
- ☆ いままでの傾向を見てみますと、午前10時半から11時半くらい、曜日でいうと火曜、水曜のこの時間帯は、あまり混み合っていないと思います。急を要さない場合は、この時間帯に受診していただければ、待ち時間が少ないと思います。

☆ **インフルエンザ予防接種について**

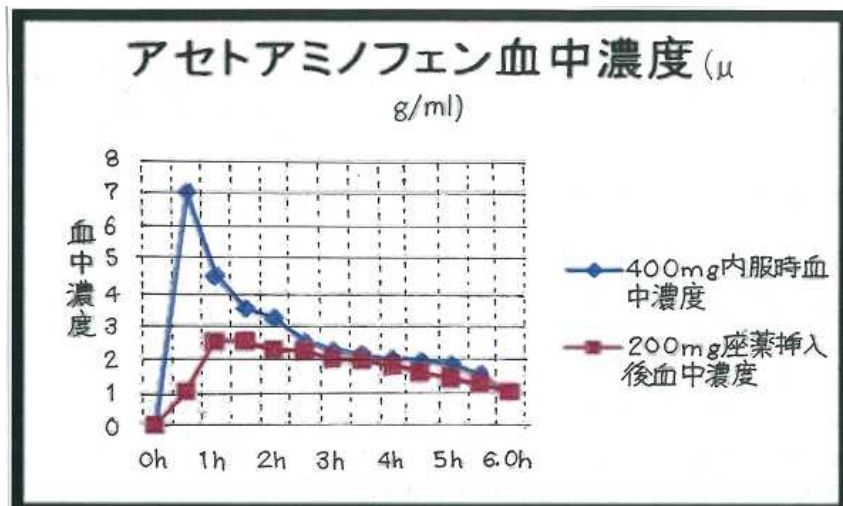
- ・ 9月25日より予約開始します。
- ・ 10月1日より接種開始予定です。
- ・ 予約方法は2つあります。
 1. 通常予約枠に予約：他のワクチンと同時接種可能な時間帯もあります。
 2. インフルエンザ予防接種外来に予約
日時：10月24日、11月21日、12月19日、いずれも土曜日13:30-16:00
：インフルエンザワクチン単独のみです。同時接種は行いません。
：1歳以上のお子さんおよび同伴のご両親が対象です。
- ・ 上記ご希望の方は、電話または外来受付でご予約お願いいたします。
- ・ 詳細は、HPおよび院内掲示をご覧ください。

9月の臨時休診予定：ありません

坐薬のほうが飲み薬より効く？

☆こどもは、解熱剤、吐き気止めなどで坐薬をよく使います。昔から坐薬のほうが飲み薬より早く効くと思われています。確かに坐薬は直腸から直接吸収され、小腸から吸収される経口薬より早く効くのが一般的です。

しかし、一番よく使うアセトアミノフェン（アンヒバ坐薬[®]アルピニー坐薬[®] カロナール細粒、シロップ、錠[®]）という解熱剤は、必ずしもそうではありません。下のグラフを見てください。アセトアミノフェン400mgを内服した時と坐薬200mgを使用した時の血中濃度を見たものです。内服薬量は坐薬の2倍ですが、最高血中濃度は2倍以上になっています。また血中濃度のピークは経口薬は15～30分、坐薬は30～60分と、経口薬の方が早くピークに達します



薬の添付文書には、成人にアセトアミノフェン400mgの細粒と坐薬を使用した場合のデータがのっています。

	最高血中濃度	最高到達時間
細粒400mg	9.1±3.2μg/ml	0.43±0.23時間
坐薬400mg	4.2±0.3μg/ml	1.60±0.16時間

これからもわかるように、アセトアミノフェンの場合、坐薬より経口薬のほうが早く良く効きます。逆に言えば坐薬のほうがゆっくり長く効くともいえます。吐き気止めのドンペリドン（ナウゼリン坐薬、ドライシロップ、細粒、OD錠[®]）も、理由は異なりますが内服薬のほうが早く良く効くため、内服薬の量は坐薬より少なくなっています。しかし、これはすべての薬に当てはまるわけではありませんので注意が必要です。

☆薬だけを直接、肛門に入れば、明らかに内服より早く効きます。しかし坐薬には、薬を溶かして固めている基剤という物質が含まれます。坐薬は、肛門に挿入されてから直腸内で体温によって基剤が溶かされその中のお薬が直腸から吸収されて効果を示します。アセトアミノフェンの坐薬は油脂性基剤を添加しているため、挿入後、基剤が溶けるまでに時間がかかるようです。

☆実際お子さんが坐薬を嫌がるかどうか、おしりに入れてもすぐ出てしまいやすいかどうか、嘔気があるかどうか、飲み薬を飲んでくれるか、下痢や便秘をしていないか、前回使った時の反応、体質や病気の種類によって、総合的に判断して使い方を選択したほうがよいと思います。坐薬、飲み薬にこだわらず、お子さんのその時々状況にあった使い方が一番だと思います。ご心配であればその都度、ご相談ください。

